

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ブルミエキッズ1st		公表日 2025年 1月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・活動スペースを少しでも広くとれるように机など大きなものは使用後すぐに片付けるようにしています。	・利用者が10名になると、やや狭いと感じるので出来たらあと1部屋欲しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・手薄にならないよう、毎日職員の動きを全員で確認しています。	・児発が多い為、小学生の迎えが重なる事業所内に残る職員数が少なく手薄にならないか心配である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・荷物置きは顔写真付きのカードを準備して視覚的に分かりやすくしています。 ・玄関の階段が段差があるので、昇り降りの際には気をつけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日掃除を行い、翌朝も環境のチェックを行っています。また、子ども達目線での“使いやすいさや楽しい”を大切にしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・大きい音が苦手なお子さまは、プレイルームの状況に応じて別室へ移り、落ち着いて過ごせるように使い分けをしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・日々の報告・連絡・相談を大切にしながらPDCAサイクルを心掛けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年に1回は必ずアンケートの実施を行い、様々な意見を参考にさせて頂いています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員会議を定期的に行ったり、気付いた時や意見がある時にすぐ提案してもらい、どうしたら良いかを皆で考えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・外部評価を取り入れながら、業務改善につなげていけたらと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修に積極的に参加を行い、研修後には職員全員で内容の共有を行っています。	
適切な支援の押	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7		・作成中です。出来次第公表致します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・モニタリング時には時間をとり、保護者の方と情報を共有しながら現在の課題は何かを話し合っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・月始めには必ず、お子さま一人一人の状況や課題を職員全員で話し合うようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・標準化されたツールを用いたアセスメントシートを活用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・お子様の現状に必要な支援は何か、そしてその内容を出来るだけ具体的に記載するように心掛けています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・土曜日や長期休暇の活動決めは全員で話し合って決め、日々の運動遊びは日ごとに担当を変えるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・活動内容に偏りのないように気をつけたり出来るだけ新しい活動を考えるようにしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・活動に偏りのないよう計画書の作成時には気を付けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎日朝からその日の動きや送迎に漏れや修正点が無いか全員で確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・帰りの送迎は時間がかかる為、なかなかその日の振り返りは難しいが、必ず翌日に連絡事項等は全員で確認するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録は必ず取り、小さな変化や気付きを全職員で共有しながら、さらによりよい支援が出来るように心掛けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・保護者の方に時間を取っていただき、一緒にモニタリングを行いながらお子様の現状に合った計画内容を作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・基本活動に偏りのないよう、考えながら支援内容を考えています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・お子様の意見をしっかりと聞いて、どうしたら良いのかを自分で考えられるように、助言をしながら導いていけるように心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者が必ず出席するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・お子様の現状や支援の方向性をこまめに確認しながら連携を取り、お子さまがスムーズに活動できるように心掛けています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・下校時間の確認は週始めにホームページを見たり、送迎の際に学校の先生と確認をおこなっています。また、送迎が遅れる際は早めに連絡を入れています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・必要に応じて連絡を取り、事業所での活動がスムーズにできるよう情報共有をさせて頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・まだ対象になる方はいませんが、その際は情報提供を致します。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		・直接的な連携は今のところありませんが、保護者の方が持参されるセンターからの意見書はとても貴重なもので支援に活用させて頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		・外部のお子さんとの交流はありませんが、FUSION内の他事業所と一緒に活動する機会を少しずつ増やしているところです。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・研修やイベント等があれば、積極的に参加するようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・事業所での様子は必ず送迎時に伝達したり保護者の方からもご自宅での様子などを教えて頂きながらこまめに情報共有をさせて頂いています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・事業所での開催は今のところありませんが研修等の案内がある際は、情報提供を行います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に運営規程や利用者負担などは説明を行っていますが、新たに作成するようになった支援プログラムは、これから一緒に説明を行ってまいります。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリングをさせてもらう際に保護者の方のご意見を必ずお聞きするようにしています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・計画書に沿って確認を行い、必ずサインを頂くようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・悩みや相談等があらわれる際はしっかり時間をとり、対応するように心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		・今のところは出来ていませんが、保護者の方からの声も上がっていますので前向きに検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情を真摯に受け止め、出来る限りの対応一つ一つを丁寧に行います。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・こまめにブログを更新したり、おたよりを発行しながらお子様の様子や活動内容、連絡事項などをお伝えするようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報が入った書類の保管や取り扱いには十分気をつけています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・言葉以外にも表情や行動を見ながら、きちんと伝わっているかを確認したり、保護者の方には口頭で伝え、メモを渡すようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		・今は行えていませんが、前向きに検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルの策定や事業所内での研修や訓練は定期的に行っています。	・保護者様への周知が出来ていないので、今後おたより等を使用して周知していきたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・計画を策定し、備品のチェックや訓練は定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時にお子様の身体状況を書類に記載して頂き、変更等があった際はその都度全職員で周知を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・保護者の方と対応法を確認しながらすすめています。また、食べられるおやつを保護者の方に準備して頂き、他のお子さんとは別で食べるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・計画書を作成し、それをもとに研修や環境の見直しを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・ホームページやおたよりで周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・報告書の作成を行い、職員間でも再発がないよう確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・社外、社内研修に全職員が積極的に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・組織的に手順や内容を決定していますが、今のところ対象の方はいません。		